西山地区

コミュニティ協議会だより

【(西風) 令和５年度９月号】

発行：西山地区コミュニティ協議会

会長　中村史傳

令和５年９月８日発行

薩摩川内市下甑町瀬々野浦 1194

TEL　09969-5-0122

FAX　09969-5-0355

これからの行事（9 月の行事）

10 日　下甑分屯基地創設 68 周年記念行事
13 日　原子力安全対策協議会　消防局
16 日　海星中学体育祭
17 日　地区内清掃
〃　敬老会
18 日　第 2 回西山小学校校庭草刈作業
20 日　サロン健康体操
23 日　運動会準備　14:00～
24 日　区民運動会　体育館
27 日　竜宮文化フェスタ実行委員会
10/5　サロン健康体操

８月６日道路愛護運動終わる

７月に始まった一連のクリーン作業は道路愛護運動で打ち上げとなりました。当日は上自治会21名、下自治会22名の皆さんが元気に参加ました。

他に中野建設４名が下自治会の作業エリアで一緒に作業されました。また中野建設からはユンボ等が貸与されました。五色産業からもトラックや、トン袋等が貸与されスムーズに作業が進みました。

前日は巡田建設12名の皆さんが上自治会エリアに入られ約半分の地域を刈り取り清掃作業に従事されました。ボランティアの皆さんありがとうございました。従事された皆さま、お疲れさまでした。余った時間に、有志で、小学校周辺の草刈りも行いました。

コミュニティ夏祭り

大型で進路予想のつきにくい台風６号は東シナ海で長い間停滞し、その後も予想のつきにくいコースを進んだ。

夏の帰省計画とか吹っ飛んでしまった方々も多い年でありました。当瀬々野浦でも避難所が二日にわたって開設され、行事も台風によって破壊されました。夏祭りのカラオケ大会、及び抽選会は予定通りできたものの、抽選券の発行枚数はいつもの年の１／３、42枚でした。１等の抽選権を引き当てたのは有本光美さん（一輪車）でした。

船主会主催餅投げ

一方割を食ったのは、餅投げ。台風の進行具合とその影響が心配され12日に延期されましたが、楽しいひと時でした。心配なことは、風で甑大橋が渡れるかどうか。と、倒木などで、道が通れるかで神主さんの確保が確約できないという理由からでした。

カイモん草トイ

コミュニティのカイモ植えは竜宮文化フェスタを基準に設定されます。

というのもコッパん餅の初売りが、ここに設定されているからです。

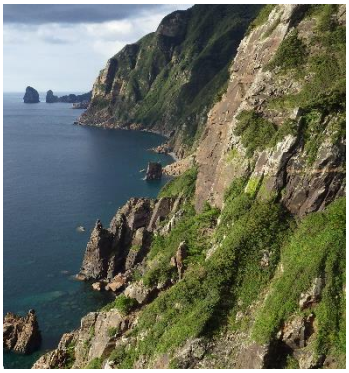
クサ餅の材料も香りがいいとされる4月に採取され、ゆであげて処理され冷凍庫に保管されているところです。

コッパん餅は島内で作られているのは当地だけなのか。芋も出来ない頃から「コッパん餅はありませんか」という問い合わせがきます。もし皆さんに問い合わせがきたらその辺の事情を教えてあげてください。写真は「草トイ」の後旧西山小学校校庭で一服して、くつろぐ参加者の皆さんです。大変お疲れさまでした。きっと皆さんの心が通じて秋は豊作となるでしょう。

ミッチリ草原から花だより

片野浦の知り合い」（親戚）から、8月19日にミッチリ草原の満開のユリ畑の写真が、送られてきてその画像をラインで転送して炎上しました。かって下甑支所長から初代甑島振興局長に就任しこの3月で退任された古川誠さんによると8月第3土曜日に4年連続で写真撮りに行かれたそうだ。

それから遅れること八日後、8月27日に行ってみました。まだ咲き誇っていました。また草原の先端から見た「沖瀬」も絶景でした。来年行ってみて下さい。真ん中の画像は「ハマトラノオでしょうか」



シリーズ6
故郷を深く浅く探る

ヘーフイカズラモフトサカイ

ヘーフイカズラ（屁糞葛・ヘクソカズラ）の花がツツジの樹上に咲き、ツクツク法師が鳴いている。

ヘーフイカズラのつぼみは白い筒状で密集する。開いた花は花弁の白さにふちどられ、濃厚色の鮮やかさは乙女の化粧したほほの色にも似る。早乙女花（さおとめばな）という優雅な名前で呼ぶ地方もあるらしい。故郷のことわざ「ヘーフイカズラもフトサカイ」は「鬼の十六、番茶も出花」と一緒だとだという。（鬼を娘にかえることもある）。

ヘーフイカズラはツルや葉を切ったりもんだりすると異臭がしてくさい。おまけにツルをのばして木にまきついていく。

さらには近くにヤブのある畑では中まで進出するやっかいもの、迷惑植物だ。

この嫌われもののヘーフイカズラさえも開花するときれいに見えるのである。

それが「フトサカイ（一盛り）の意味である。ただこのことわざは、ホメ言葉ではなく、皮肉や諧謔（かいぎゃく）のことわざでもあるので、ご注意を。（中村史傳）